

令和2～6年「健康起因による運行の中断」発生概要

	発生日	事故の種類	死亡	重傷	軽傷	備考
1	令和2年2月4日	健康起因	0	1	0	16:30頃、三陸道の山田北IC付近において、フロント右側のタイヤがパンクし路肩に停車。修理業者が現地に向かうと、男性運転手(56歳)の言動がおかしいことから事業所に連絡。運転手も体調不良とのことから救急車を要請し、病院に搬送。病院到着時の血圧は200以上あり、 脳内出血 が確認された。現在、右半身にマヒが見られ入院しリハビリ中。
2	令和2年2月10日	健康起因	1	0	0	10:50頃、本社営業所の認可車庫内で荷物の積み込み待ちをしていた男性運転手(60歳)が、運転席で口から泡を吹いて倒れていた。その後病院に搬送されたが死亡が確認された。死因は 心疾患 による。
3	令和2年8月5日	健康起因	0	0	0	12:10頃、宮城県黒川郡のコンビニエンスストアで男性運転手(54歳)が昼休憩をしていたところ、手足の痙攣を感じたため営業所に連絡をし、代替運転手と交替した。その後病院に搬送され、検査の結果、 熱中症 による熱痙攣と確認された。運転手は翌日退院した。
4	令和2年11月1日	健康起因	0	0	0	16:40頃、福島県岩瀬郡鏡石町付近の東北自動車道上りで男性運転手(23歳)が走行中に急に具合が悪くなり吐き気を催したため、近くのPAで休もうとしたが、運転に集中できなくなり左側路肩のガードロープに接触し、路肩に緊急停止した。その後、車両はレッカーし、運行は中断した。原因は 不摂生な食生活による体調不良 と思われる。
5	令和2年11月21日	健康起因	0	0	0	6:30頃、洋野町中野の国道45号で男性運転手(51歳)が駐車スペースで休憩中、体が軽くなるような感覚や平衡感覚を失う等のめまいを起こした。キャビン内で安静にするものの、吐き気や嘔吐に襲われた。その後、同僚が駆け付け通報した。検査の結果、 めまい症 と診断された。
6	令和2年11月29日	健康起因	0	0	1	7:00頃、陸前高田市高田の市道で男性運転手(46歳)が走行中にめまいが生じ、路側帯に設置している消火栓のガードポール2本に衝突。本人はそれに気付かず、その後2kmほど走行した。その後、病院で診断を受けた結果、 脳梗塞 と診断された。
7	令和3年7月29日	健康起因	0	0	1	14:00頃、北上市村崎野にある荷積み先で、男性ドライバー(26歳)が 熱中症 のような症状(めまい、不快感)が現れ体調が悪くなり、岩ト協へ連絡した。岩ト協より運行の中止を勧められ、その後本社へ連絡し、管理者2人が現地へ向かった。当時、北上市は気温30℃で熱中症アラートが出されていた。
8	令和3年8月4日	健康起因	0	0	1	13:15頃、宮城県黒川郡大衡村で男性ドライバー(54歳)が荷卸し作業中、 手足の痙攣 を感じたため、営業所へ連絡をした。その後、救急車が到着し、黒川病院へ搬送された。当時、大衡村の気温は31.6℃でWBGT値(暑さ指数)は29.6(厳重警戒、上から2番目の危険度)となっていた。 熱中症 と見られる。
9	令和3年8月7日	健康起因	0	0	0	3:00頃、宮城県岩沼市の荷主構内で男性ドライバー(66歳)が積み込み待機中、 手の痺れ を感じ、担当者からろれつが回っていないと指摘された。その後、休憩を取ったが状況が変わらないことから救急車を要請し、緊急搬送された。搬送先でアテローム血栓性 脳梗塞 と診断され、カテーテル治療の後、17日間の入院となった。
10	令和3年10月14日	健康起因	0	1	1	※重大交通事故(重傷以上)に情報掲載あり。 (意識消失:原因不明)
11	令和3年10月15日	健康起因	0	0	0	13:00頃、千葉県野田市の荷積み先で男性ドライバー(41歳)が積み込み中、突然 胃痛 が発症し、事業者へ連絡をした。その後、同現場に居た同社ドライバーが病院へ連れていった結果、 十二指腸潰瘍 と診断され入院となった。
12	令和4年4月28日	健康起因	1	0	0	12:00頃、茨城県笠間市の北関東自動車道の笠間PAで休憩していたところ、車両が動いていないことに気付く運転者(61歳)に連絡したところ連絡が取れず、交通機動隊に連絡。機動隊到着後、運転者の反応が無いので緊急搬送されたが、死亡が確認された。死因は 心筋梗塞 による。

13	令和5年7月11日	健康起因	0	1	0	6:30頃、遠野市宮守町の県道161号線を走行中、運転者(52歳)が胃の痛みを感じたため車両を停止し運行を中断した。運行管理者へ連絡を取り、救急車で緊急搬送となった。検査の結果、 胃癌 であることが判明し、手術・入院となった。(直近の健康診断で症状は確認されていない)
14	令和5年8月24日	健康起因	0	1	0	7:30頃、一関市東山町の国道343号線を走行中、体調が悪くなり停車しようとしたが、 意識が無くなり 下りの左カーブで対向車線にはみ出し、そのまま道路脇の立ち木に衝突した。この事故で運転手(63歳)が両足をはさまれ骨折する重傷を負った。
15	令和5年10月7日	健康起因	0	0	1	10:02頃、秋田県大仙市の国道13号線を走行中、 めまい による体調不良となったため停車した。回復が見込めないため、ドライバー自身で救急に連絡し、病院へ緊急搬送された。検査の結果、運転手(48歳)は 胃潰瘍・十二指腸潰瘍 と診断された。
16	令和5年12月8日	健康起因	1	0	0	7:50頃、一関市の市道を走行中、赤信号で停車していた乗用車に追突した。この事故による怪我人は無かったが、ドライバーは 追突前に意識が低下 し数分間の迷走状態であった(ドラレコ映像より)。警察の事故処理後、運転手(61歳)の意識が朦朧としはじめ、問いかけにも応答が無くなったため病院へ緊急搬送されたが、 急性心不全 のため亡くなった。事故につながった原因は不明だが、運転手は糖尿病を患っており、事故現場に駆けつけた同僚に「今朝、糖尿病の薬を飲み忘れた」と話していた。
17	令和6年4月30日	健康起因	0	0	1	8:10頃、紫波町の県道13号線を走行中、 体調に異変 が生じ右車線側のガードレールに衝突後、左側の側溝に逸脱した。この事故で運転手(48歳)が軽傷を負った。検査の結果、 神経調節性失神 と診断され、食生活と生活習慣の改善を指導された。
18	令和6年5月26日	健康起因	1	0	0	7:37頃、福島県伊達郡国見町の東北自動車道(下り)において、国見SAのトイレを利用していた運転手(55歳)が個室内で死亡しているのが発見された。 急性心臓死 とみられる。なお、当該事業所では年2回の健康診断の受診、並びに医師の所見に基づく要精密検査指導にある場合の受診を実施しており、点呼時は運転者に健康上の異常は特に見られなかった。
19	令和6年8月5日	健康起因	0	0	0	9:45頃、盛岡市永井の国道46号線において、荷卸し先で 立ち眩み の症状が出たため、近隣のコンビニ駐車場に移動し管理者へ連絡をした後、運転手(60歳)を交代した。検査の結果、高血圧の治療で服用していた 降圧剤の影響によるめまい とみられる。なお、点呼時は運転者に健康上の異常は特に見られなかった。
20	令和6年8月9日	健康起因	1	0	0	15:30頃、盛岡市の国道455号線において、停車中の車内において中型トラックの運転手(68歳)が 意識喪失状態 で発見され、その後、搬送先の病院で死亡が確認された。検査の結果、 急性動脈解離 と診断された。なお、この事象による他車との衝突等の被害は無かった。
			5	4	6	